

たかむくの まちづくり

No.31

協議会
広報紙

高
原
の
人
口

世帯数	2,603戸
人口	7,167人
男	3,498人
女	3,669人

R3.10.31 現在



目次

- p2~3…あんしん部会だより
- p4…ふれあい部会だより
- p5…ふるさと部会だより
- p6…世界を旅するコミセン講座
- p7…たかむく歴史がたり
- p8…高原まめ知識、防災力upミニ講座、坂井警察署よりお知らせ、編集後記



スタート

秋晴れの気持ちいいお天気に恵まれた十月二十四日(日)、あんしん部会と高椋体育協会の共催で「てくてく歩こう会」が開催され、家族や友人、一人でのんびり参加する人など五十名が参加してくださいました。

コロナ禍のため昨年度は実施できませんでした。今年は何とか開催できないかということで、あんしん部会と体協で何度も検討を重ね、三つのグループに分かれ各グループ二十人までと決め、時間を空けて出発し、丸岡城周辺の施設やお店に設置されている武将かかしを探すウォークラリー形式で開催の実現となりました。チェックポイントに協力してくださった施設・お店の皆様、ありがとうございました。

てくてく歩こう会



参加者の声

- お友達と参加しましたが本当に楽しかったです。また来年も企画してください。
- 先導の人がついてくれたので、周りの景色をゆっくり眺めながら楽しめました。
- 丸岡城へ上がる階段に飾られている一筆啓上賞の作品を読みながら登るのがとても良かったです。
- 國神社でおみくじを引いたら「凶」をひいてしまったけど、神事後にもう一回ひいたら「中吉」でした。楽しかったあー。ありがとうございました。
- 宮司さんの先導のもと、賑やかな雰囲気できちんとお詣りできて良かったです。
- 城小屋マルコを初めて知りました。こんなところがあったんですね。

スタッフの声

- いい経験をさせていただきました。
- はくれる人やけが人が出なくて良かったです。
- お城内散策から城小屋マルコへのルート効率化するのいいと思いました。
- 20人ずつのグループに分けたことや、グループ同士が重ならない時間配分だったのが良かったです。



私たちがあんしん部会員です(防犯パトロール出発前)



自衛隊員の講演

舟寄五区の小寺さん「防犯荣誉金賞」を受賞される

この度、たかむくのまちづくり協議会あんしん部会員である小寺洋一さんが、警察庁と全国防犯協会連合会から「防犯荣誉金賞」を受賞されました。

小寺さんは、昭和49年に防犯隊に入隊して以来、隊員として47年間にわたり地域の安全に取り組んでおられます。現在は坂井市防犯隊の隊長として、市内の防犯隊を統率されています。また、平成23年から6年間、まち協の安全安心部会長を務められ、今もあんしん部会員として活動されています。さらに今年は舟寄五区の区長や高椋地区区長会の副会長を務めるなど、地域のために日々尽力されています。

そんな小寺さんに今後の抱負などを伺ったところ、「地域の安全は地域で守る」という信念のもと、今後も見える活動を続けていきたい。「従来から行っている青色回転灯によるパトロールの実施や、街灯啓蒙活動を今後も続けていきたい」と熱い思いを語ってくださいました。ここに地域の宝としてご紹介させていただきます。



あんしん部会だより

高椋地区自主防災訓練

まちづくり協議会と区長会の共催により、令和三年度高椋地区自主防災訓練を十月二十三日(土)に高椋西部コミュニティセンターで実施しました。

自衛隊員による災害現場での体験を基にした講演のあと、まちづくり協議会が備蓄している防災資器材の実地体験を行いました。

災害用マンホールを使った野外トイレ設置



組立前のトイレ

マンホールのふたを開ける

穴の上にアルミ板をのせる

トイレを設置する

完成

この設備は高椋西部コミュニティセンターにしかないそうです。いい経験になりました。

ふれあい部会だより

食育活動をふりかえって

「あつ、シャボン玉がいっぱい」「泡がふうせんみたいに大きくなったあつ」など、子供たちの口からいろいろな言葉がとび出してきました。きょうは食育事業（園児との梅干し作り）の最終回。鍋でご飯を炊いておにぎりを作る日です。

透明の鍋に、洗ったお米と水を入れ炊き始めると、ぶくぶくと泡が立ち、子供たちの目は鍋に釘づけです。子供たちは、「泡が小さくなった」「泡がなくなったよ」「いいにおいがしてきた」「水がなくなっただけ、どこに行った？」「ご飯ができたアツ」など、目・耳・鼻を全開し観察していました。

高椋地区はコシヒカリの生みの親、石墨博士のふるさと！
そして今回使ったお米は、子供たちが育てたコシヒカリ！

私たち「たかむくのまちづくり協議会ふれあい部会」では、本年度、コロナ禍の中、日本食の原点を見直し、伝統食を子供たちに伝えていこうということで、まごころ認定子供園の五歳児二十五名と食育活動に取り組みました。

- 六月：梅の塩漬け
- 七月：赤しそ入れ（漬込み）
- 八月：梅の天日干しと、しそのゆかり作り
- 九月：お米の炊飯と梅干し・ゆかりを使つてのおにぎり作り

この四カ月の活動を通じて、生き活きと取り組んでいる子供たちの姿から、親子で取り組みたらもつと良かったなと感じました。今年度からスタートした食育事業。これからも慌てずゆつくりと、子供たちと同じ目線で楽しみながら、「食」の大切さを伝えていけたらと思っています。

ふれあい部会 大霜 範子



おいしいおにぎり作るぞ～



いいにおいがするよ！



お鍋でご飯を炊きました



まち協活動に参加して

私は昨年からまち協に入っていますが、今年度は再編したふれあい部会に加入しています。まち協にはいろいろな特技をもった人も多く、それぞれの部門で活躍されています。

私は花づくり部門と食育部門の活動に参加して、たくさん嬉しい出会いと経験をしました。花づくり部門では、種まきからお花の育て方までいろいろなことを教えてもらったことがとても役に立ちました。今までは我流でやってきましたが、一から丁寧に教えてもらい「なるほど！こういうことか！」と思うことが多く、花づくりがより一層楽しくなりました。

食育部門では、梅干しとおにぎり作りのお手伝いをしましたが、この一連の活動を通して、子供たちとふれあえたことや、子供たちが私の顔を覚えてくれていて「また会えた」と声をかけてもらったことが何より嬉しかったです。仲間のおしゃべりも楽しく、作業の時間もあつという間に過ぎてしまいます。まち協って楽しい！

(A・H)



笑顔の花も咲きました(花いっぱいグループ)

ふるさと部会だより

舟寄正堺遺跡発掘調査体験記

舟寄地区では以前、舟寄遺跡（縄文中後期）舟寄・福島遺跡（縄文晩期・弥生古墳）が発掘されました。舟寄正堺（しょうさかい）遺跡は福井港丸岡インター連絡道路事業に伴う埋蔵文化財の調査です。

正堺（しょうさかい）遺跡は、弥生（中期）から古墳（前期）の遺跡です。場所は丸岡サッカー場駐車場西で、木下鉄工（株）の南です。

発掘調査は、まずは試掘をし、遺跡のある面まで掘ってから、スコップやくわ等で均一に行ないます。その後、「ガリガケ」という土の表面を削り、滑らかにする作業をします。もしその時に遺物が発見された場合は、石一つといえども、学芸員の人が精査します。これまでに発掘されたものは、土器、石器（石のやりじり）菅（すが）玉（たま）の材料（緑色凝りよくしよきよ）石灰（せつ）かい）などの一部が発掘されました。また遺構も発掘され、特筆すべき点は、大きな溝（川）として沼の後が確認された事です。今思えば私の幼少期、六十年程前には、沼があったような記憶があります。弥生時代には、稲作が始まり、今日に至っていますが、舟寄地区では当時から稲作が続けられたかと思うと、歴史の重みを感じます。この土壌が、後のコシヒカリの父石墨慶一郎博士を輩出したかと思うと、感慨深いです。

なお、十二月には、地元住民を対象の調査説明会を予定しているそうです。今から心ワクワクです。

ふるさと部会副会長 恩地 信亨



今後の行事予定



日時 3月6日(日) 午前9時～正午
場所 高椋コミセン4階 たかむく古城ホール

このコンサートは「コロナの感染拡大に伴って、発表の機会がなくなってしまった方々によるコンサートを開催して、地域の皆さんのふれあいの場を設ける」ことを目的としています。

今回初めての取り組みであり、どのようなものになるかはわかりませんが、大ホールのステージ上で日頃の成果をご家族や友人、地域の皆さんに見ていただくことで、みんながふれあえる場にしたいと思っています。開催が近づきましたら広報にてお知らせします。多数のご来場をお待ちしています。

歴史探訪研修に参加して

今回、歴史探訪事業の一環として、陰陽師ゆかりの地、名田庄を訪ねる企画をしました。この地は安倍晴明の子孫にあたる「土御門家」ゆかりの地ということで、この「歴史探訪」が作られました。そこには陰陽道・曆・天文観測用具など多くの貴重なものが収集されており、大変興味深いものでした。

次に、福井県年縞博物館を訪れました。水月湖から掘り出した年縞は「世界の標準のものさし」として貴重なものであることがわかりました。今、舟寄地区では「舟寄正堺遺跡」の発掘調査が行われておりますが、この発掘で今後貴重な物が出るのではないかと思いが、博物館を後にしました。

今回の研修で感じたことは、食事処で、おかみさんが地元小浜の歴史の説明をされていたことです。自主的にしているものが、小浜市の取り組みなのかわかりませんが、今後のふるさと部会の活動の参考になりました。

平日開催の企画でしたが、沢山のご参加ありがとうございました。新型コロナウイルス感染症がそのまま落ち着いてくれるといいですね。

ふるさと部会 尼形 治三



お宅に眠っている 高椋の懐かしい写真や 歴史資料はありませんか？

突然ですが皆さん、「たかむく玉手箱」という、高椋地区四五〇〇年の歴史書はご存知ですか？



平成二十二年に発行された本です。たかむくのまちづくり協議会と歴史文化部会が中心となり、その他沢山の人の協力で、できた本です。あれから十年余り経過した今、改訂版を発行する事となりました。

つきましては、皆様の所に眠っている郷土の歴史資料や写真などを募集しています。

また、郷土の歴史に興味がある方は、まちづくり協議会の、ふるさと部会などの活動に参加してみませんか？

待ってまーす！

問合せ先 高椋コミュニティセンター 6810843

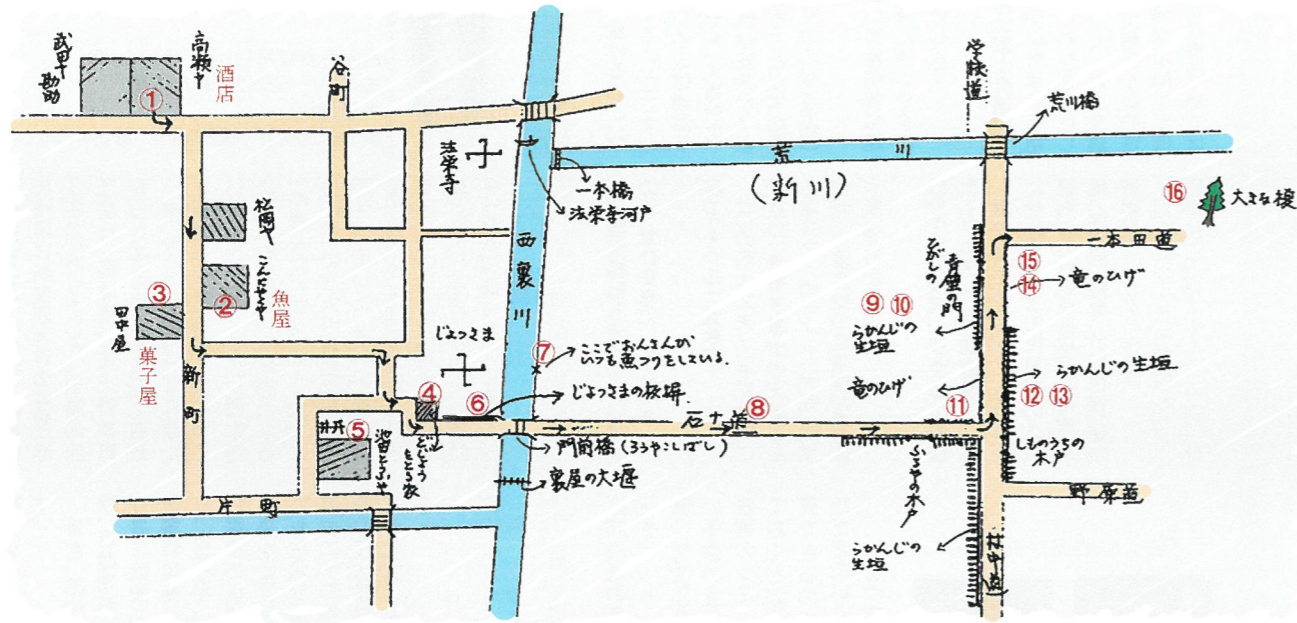
広報委員より



『たかむく歴史がたり』第2回 中野重治作「梨の花」に書かれている西里丸岡

小説「梨の花」は、旧高椋村に生まれ育った、作家であり詩人でもある中野重治の幼少時代を、主人公の「良平」を通じて、農村の日常生活を方言豊かに描いた自伝的小説です。

その書き出しに、主人公の良平が、いつものお使いで一升徳利を下げて、新町の高瀬屋から西里丸岡の村中道から大きな榎の下を通り、一本田への帰り道での様々な思い出が描かれています。



「梨の花」に書かれている西里丸岡村

- ① 良平は一升徳利を下げて高瀬屋(酒店)の店を出た。小学一年生である
- ② こんやく屋の前を通る。…「いわあしーわし、わし、わし…」と売りに来る。
- ③ 良平は田中屋(お菓子屋)の前を通る。…この飴湯は美味しく良平は好きだ。
- ④ とうとう良平は「じよっさま」(浄心寺)の前へ出た。「おしんぶっあん」がいる…。
- ⑤ じよっさまの横手に「どじょうを取る家がある」どじょうを売ってもらうことがある。
- ⑥ 少し行くと 町はここで終わる その川ぶちの じよっさまの背中になる 長い板塀にいくつも看板が貼ってある 鳥の毛の帽子を冠った 八字ひげの人の絵は「仁丹」の広告看板だ、禿あたまで鉄ふちの…「大学目録」の広告看板だ、…。
- ⑦ 門前橋の詰のから…いつものおんさんが鮒を釣っている…治療のために魚を釣る。
- ⑧ そのへんから良平はたんほのあいだにでる。少し行くと西里になる。
- ⑨ 西里は ほんとうの名は別にあるが、良平はよく知らない。
- ⑩ 西里は 村は小さいがや屋たち建ちはみないい きちんと垣根をつくって…。
- ⑪ 高瀬屋に 酒買いにいくたんび 行きかえりに、この西里を通らなければならぬのが、良平はこれが苦手になっている。
- ⑫ しかし西里にはふたりの同級生がいる、二人とも女だ…同級生のほかに上級生が4人ほどいる。4年生、5…といったへんだらう。良平はこの上級生が苦手なのである。
- ⑬ 良平が通りかかると刈り込んだ生垣のかけから 4、5人の上級生がひよいと、ばらばら出てくる。通せんぼうをする…良平は黙っている。相手かわきに退くまで…。
- ⑭ 持っている笹竹で、良平の徳利にさわったりして…「アハハ…」と笑う…。
- ⑮ なんて西里の子供らが良平にかまうのか、良平はよくわからない…。
- ⑯ 西里を出はざれるところに、大きな「よのき(榎)」がある。鳥がとまっている。もう葉が落ちていて。ここまできると畑と田との野を越して良平の家の榎がみえる。西里の子供がきても ここから先へは追ってこない。ここから家まで、あいだにさえぎるものがない。からりとして気持ちがいい。

(参考資料: 文芸アルバム中野重治、岩波文庫「梨の花」中野重治作)

寒い冬、外に出られない日に「梨の花」を呼んで、懐かしい時代を思い出してみたいかたがた。

ふるさと部会 吉田昭宣・記

世界を旅するコミセン講座

この講座は「旅恋しい今、コミュニティセンターで各国の文化を体験して、旅行に行った気分を味わってみませんか?」をテーマに丸岡町内のコミセンが集まって開催する講座です。高椋コミセンと高椋西部コミセンでは、「インド」に行った気分を味わっていただく2つの講座を開催しました。



ランプの灯りに心いやされるひとときでした

高椋コミュニティセンター 新月のナイトヨガ

11月5日(金) 講師: 木谷 博子 先生

「インドといえばヨガの聖地」ということで、高椋コミュニティセンターでは『新月のナイトヨガ』講座を開催しました。

この日は新月。新月には願い事すると叶うと言われていたそう、ランプのあかりがゆらめく空間の中、やさしい先生の声で、ゆったりとヨガを楽しんでいただきました。心も体もスッキリと…みなさん自分をリセットされて帰られたのではないのでしょうか!



高椋西部コミュニティセンター キレイに効く☆スパイスの力

11月8日(月) 講師: 稲葉 美智子 先生

「カレーをスパイスから作るのは大変そう!」興味はあるけど、どんなスパイスを使えば良いかわからない」と言う方のために、今回「簡単で美味しい、インドの薬膳料理 キーマカレー」を作りました。

稲葉先生の「最初の玉ねぎを炒める工程が大事」と言う言葉通り、玉ねぎを丁寧に炒めました。クミンシードや生姜、ニンニクの香りと赤唐辛子、月桂樹の彩りも合わさり、普段作り慣れているキーマカレーとは違う、サラリとした感触のカレーに仕上がりました。

市販のルーに慣れていると最初は薄味に感じますが、余計な調味料が入っていないので、「野菜の甘み」と、「香り」を味わうことができました。スパイシーと言うと刺激的なイメージですが、今回は、カレーも紅茶も非常に優しい味わいで、複雑な工程もなく、受講生の皆さんからも、「これなら家庭で作ってみたい」との声が聞かれ、大満足の日でした。



キーマカレーの作り方

【材料(5~6皿分)】

カレー粉	大さじ5+小さじ1		
クミンシード	小さじ1/2		
赤唐辛子	1~2本		
ローリエ	1~2枚		
玉ねぎ	700g	にんにく	1かけ
トマト缶	1缶	サラダ油(A)	大さじ4
合挽き肉	250g	〃 (B)	大さじ1
グリーンピース	100g	天然塩	小さじ1と2/3
しょうが	10g	水	500cc

【作り方】

1. フライパンにサラダ油(A)とクミンシードを入れ、火をつけ弱火で炒める。温度が上がったら、みじん切りした玉ねぎを加え、甘みが出るまで30分程度炒める。
2. 玉ねぎがきつね色になればトマトを加え、5分炒める。
3. 鍋にサラダ油(B)と赤唐辛子(切らずに使う)、おろしたにんにく・しょうがを加え、香りが立ったら合挽き肉を加え炒める。肉の色が変わったらカレー粉を加え、5~6分炒める。
4. フライパンの中身を鍋に入れ、水と塩、ローリエを加え沸騰させる。アクを取り中火にして30分程度煮込む。
5. グリーンピースを加え、時々混ぜながら好みの水分量にする。出来上がり前に塩で味を整えて仕上げる。

災害情報を利用して避難に役立てよう

「避難とは難を避けること、つまり安全を確認すること」です。安全な場所にいる人は避難する必要はありません。災害時に、今自分がある場所は安全か? ということを考えることが大切です。その時に役立つのが「情報」です。

今回は、新しい災害情報伝達手段の中から、特に使いやすいものを三つ紹介します。

- ① 防災ポータル(国土交通省)
「いのちとくらしをまもる防災減災」を一人ひとりが実行していくためのサイト。国土交通省が所有する防災情報が集約されています。日頃から知ってほしい防災情報や、災害時、見てほしい防災情報もそろっていますので、ぜひ参考にしてください。
- ② 「キキクル」(気象庁)
「この雨大丈夫?」そんな時に役立つ、気象予報士の天達さんもおススメのサイト。大雨洪水警報、災害発生危険度が色(赤や紫)でわかります。
- ③ 「ふくい防災シグナル」(丹南ケーブルテレビ株式会社)
福井県民ならスマートフォンにぜひ常備してほしいアプリ。県内における災害情報(雨量、水量、積雪量、震度、渋滞情報、避難情報など)がわかります。

近な地域の危険箇所や危険度をチェックしたり、「避難弱者」になりがちな高齢者や小さい子供の立場になって避難誘導のシミュレーションをしておくと、防災上の弱点を発見できるので、ぜひやってみていただきたいと思っています。

文：吉田 幸恵(防災士)

「ふくい防災シグナル」

Download on the App Store

GET IT ON Google Play



「防災ポータル」
防災情報318サイトがひとまとめ! 簡単アクセス!
※多言語対応サイトは160サイト(2020年9月時点)

日頃から知ってほしい情報

- 被害想定
- 身の守り方
- 路線情報
- 私たちの取り組み


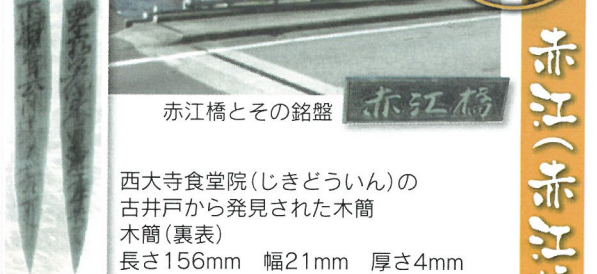
旅のお供! お役立ち情報

- 観光情報
- 路線情報

災害時、見てほしい情報

- 被害状況
- 気象状況
- 逃げるための情報
- 交通・物流情報
- 被災者支援情報
- 安否情報
- ライフライン情報
- 地域の情報

防災ポータル 検索

赤江(赤江橋)の由来


私たちがの地域には、奈良時代後半に奈良西大寺の莊園(赤江庄)がありました。当時の赤江庄は、南は福井市上野本町から丸岡町南部の高柳、吉政一帯、北は丸岡町坪江にまたがる約一六八町歩に広がっていました。赤江庄から西大寺にお米を奉納した証拠となる「木簡(荷札)」が、平成十八年(二〇〇六)に西大寺食堂院から発掘されました。その木簡には「西大寺赤江南庄黒米五斗吉万呂 延暦二年六月十五日(写真)」「赤江北庄延暦十一年地子」等が確認されています。延

暦二年とは西暦七八三年です。

現在、高柳地籍に小字赤江橋、吉政地籍に小字赤井橋(江が井に転訛)があり、福井市森田栗森地籍に小字赤江田があり、旧国道八号線吉政出村から高柳の区境の兵庫川に架かる橋を「赤江橋」と言います。これら赤江の地名の由来が、平成二十二年(二〇一〇)頃、奈良女子大学館野和巳教授の研究から明らかになりました。

文責：松本盛博

霞交番からのお知らせ

- 防犯対策への協力
盗難や犯罪を防止するためには、防犯カメラが有効です。設置の際のご相談は霞交番にご連絡ください。
 - 自転車は「車のなかま」
自転車は道路交通法で軽車両に位置付けられています。交通ルールを守って安全運転を心がけましょう。
- ご相談は《坂井警察署 霞交番》まで
☎ 66-0110(内戦503)
- 



今年4月から広報委員がリフレッシュしました。

編集後記

今年度から広報委員長を仰せつかりました、辻です。

広報委員は、私のほかに各部会から各1名の委員さんがおられます。微力ではございますが、高柳地区の皆さんの日々の生活の中からキラリと光る様子を、この紙上で紹介していきたいと思っています。

昨年、今年とコロナにオリンピック等、いろいろな出来事がありました。何とか新しい年を迎えられそうです。

さて、皆さんは今、行きたい所はありますか? 私はブラジルのサンパウロに行ってみたくです!! あるテレビ番組で見たサンパウロには、今の日本人が忘れていている一昔前の日本人の心がありました。商店街に小さな店が並び、そこに人々が集まって情報交換をし、住民の人たちが互いに助け合う様子に感動!

皆さんも今一度思い返してみませんか?